

# 第100期 報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

トップインタビュー

『価値』を追求し、『信頼』される  
グッド・カンパニーへ



# 『価値』を追求し、『信頼』される グッド・カンパニーへ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループ事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび第100期定時株主総会ならびに取締役会よりご承認いただき、代表取締役社長・社長執行役員に就任いたしました岡本 均でございます。

環境の変化を的確に捉え、グループの強みを活かした独自性ある事業展開を通じて、企業価値のさらなる向上と卸機能の進化に向け邁進してまいります。

引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

代表取締役社長  
社長執行役員

岡本均

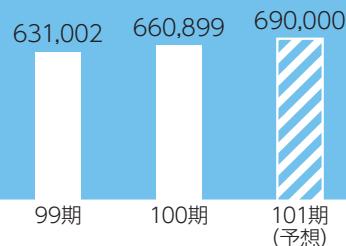


## ●略歴

昭和55年4月	伊藤忠商事株式会社入社
平成19年4月	同社ファッションアパレル部門長代行 兼 ファッションアパレル第一部長
平成20年4月	同社 執行役員ファッションアパレル部門長
平成22年4月	同社 常務執行役員繊維カンパニープレジデント
平成22年6月	同社 代表取締役 常務執行役員繊維カンパニープレジデント
平成26年4月	同社 代表取締役 専務執行役員繊維カンパニープレジデント
平成28年4月	同社 代表取締役 専務執行役員CSO・CIO
平成30年4月	当社 社長執行役員
平成30年6月	当社 代表取締役社長 社長執行役員（現任）

## 連結決算ハイライト (単位:百万円)

売上高  
660,899百万円  
(前期比4.7%増)



## 平成30年3月期の取り組みと経営成績

当期の食品流通業界は、消費者の生活防衛・節約志向が依然として続き、また、人手不足とこれに伴う労働・物流コストの上昇、加えて業種・業態の垣根を越えた競争の激化から、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況のなかで当社グループは、前期より始動した5か年中期経営計画の2年目として、「既存事業の深耕・拡大」と「新分野の育成」をミッションに掲げ、営業・物流・情報・代金決済・マーケティング・マーチャンダイジングという6つの卸機能を高めながら、中核事業の拡大・深耕を図りました。

これらの取り組みが組織小売業との取引拡大や販路開拓につながり、売上高は6,608億99百万円（前期比

4.7%増）となりました。商品分類別では、酒類分野の提案強化により、「ビール」「和洋酒」を中心に売上高が増加しました。利益面では、取引拡大により物流費などを中心に販売費及び一般管理費が前期比で約7億円増加しましたが、増収効果による売上総利益の増加により、営業利益42億46百万円（同12.4%増）、経常利益50億32百万円（同10.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益40億31百万円（同19.5%増）となりました。昨年10月23日に公表の業績見通しに対しては、売上高、利益面ともに上回る結果となりました。

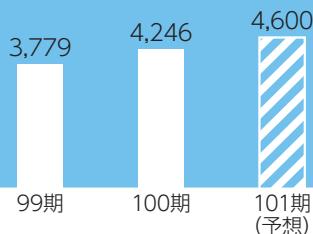
## 中期経営計画 重点戦略の進捗状況

5か年中期経営計画では、「『価値』を追求し、『信頼』されるグッド・カンパニーへ」を経営ビジョンに掲げ、計

▶ 詳細はP7-8をご覧ください。

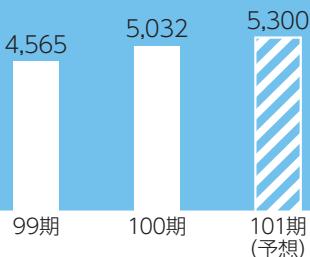
### 営業利益

4,246百万円  
(前期比12.4%増)



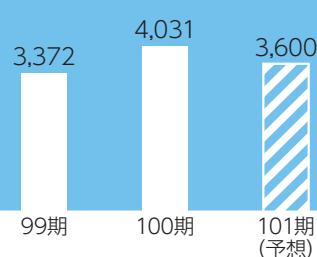
### 経常利益

5,032百万円  
(前期比10.2%増)



### 親会社株主に帰属する当期純利益

4,031百万円  
(前期比19.5%増)



画最終年度の目標（売上高1兆円以上・経常利益率1%（毎期増額））達成に向け、「中核事業の拡大・深耕」「ナンバー1戦略」「価値追求・機能強化」を推進しています。

酒類分野の取り組みでは、イタリア産スパークリングワイン「フランチャコルタ」のパイオニアとして知られる「ベルルッキ」と日本における独占販売契約の締結や、「ミオネット」のラインナップ拡充・小売向け展開などを推進しました。また、ワイン&スピリッツ推進チームを設置し、独自提案によるロゼワインの拡販に取り組みむと同時に、ワイン取り扱い資格取得者の育成も強化しています。

ギフト分野では、近年のスマートデバイスの普及に合わせ、従来から提案を進めている「ギフトカード」をデジタ

ル化した「デジタルギフト」ソリューションの提案を推進。商品開発事業では、有名ブランド開発商品を拡充するなど、積極的な取り組みを行っています。また、ヘルス&ビューティ分野では手軽にタンパク質を補給できる商品群を「アスレチックフード」として提案するなど、健康志向の高まりに合わせたMDを推進しています。

### 平成31年3月期のミッションと見通し

中期経営計画3年目の次期（平成31年3月期）は、5年間にわたる計画の折り返し地点として、重要な期となります。当社グループは“「変化への対応」と「基盤の強化」～さらなるグッド・カンパニーを目指して～”を次期のミッションに掲げ、今後の成長に向けた礎を築き上げていきます。

中核事業の拡大・深耕に注力するとともに、今年4月に新設した「業務改革部」が中心となり、経営基盤のさらなる強化を図ります。具体的な取り組みにおいては、引き続き酒類やギフト、ブランド商品開発、WEB関連、地域産品、ヘルス&ビューティなど独自性のある重点分野を強化してまいります。また戦略的パートナー企業との連携を通じて、新たなカテゴリーと販路を開拓する一方、百貨店・グロサリー売場の運営受託などを行う「㈱アイ・エム・シー」などを中心としたグループ会社による収益拡大にも力を入れてまいります。以上の取り組みを踏まえ、次期の業績は、売上高6,900億円（当期比4.4%増）、営業利益46億円（同8.3%増）、経常利益53億円（同5.3%増）、

#### 企業理念

常に時代の変化と要請を先取りし、  
健康で豊かな食生活創りを通じて  
消費者と社会に貢献します

#### 経営ビジョン

『価値』を追求し、『信頼』される  
グッド・カンパニーへ

親会社株主に帰属する当期純利益36億円（同10.7%減）を見込んでいます。

なお当期の期末配当は、予定通り1株当たり37円50銭とさせていただきます。これにより、年間配当額は同額の間配当と合わせて75円となりました。次期の配当については、1株当たり75円（中間・期末とも37円50銭）を予定しています。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 第101期ミッション

「変化への対応」と「基盤の強化」  
～さらなるグッド・カンパニーを目指して～

### 101期連結業績予想

売上高	6,900億円
営業利益	46億円
経常利益	53億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	36億円

## 平成30年3月期 News Digest

### 平成29年

6-7月

- 当社展示会「FOOD WAVE2017」を開催（6月東京、7月大阪）

7月

- BERLUCCHI（ベルルッキ）と日本における独占販売契約を締結

8月

- 「商業高校フードグランプリ2017」を開催



11月

- 「山梨県富士吉田市フード・セルフケアプロジェクト」発足



- 商業高校フードグランプリが「第26回食品安全安心・環境貢献賞」を受賞

### 平成30年

1月

- 当社展示会「FOOD WAVE2018 NAGOYA」を開催

2月

- MIONETTO（ミオネット）の小売向け販売を開始 [P5特集へ](#)

3月

- 商業高校フードグランプリが平成29年度「青少年の体験活動推進企業表彰 文部科学大臣賞」を受賞 [P6トピックスへ](#)

- MIONETTO（ミオネット）が「第5回サクラアワード ゴールド賞」を受賞



※サクラアワード…“SAKURA” Japan Women's Wine Awards

# 酒類分野における新たな価値提供へ 海外有力ブランドの国内販売を積極展開

当社グループは、酒類分野の強みを活かした新しい価値を提供すべく、海外有力ブランドの国内販売展開を推進中です。その一環として、2016年4月に日本国内における独占販売総代理店契約を締結したプロセッコブランド「ミオネット」は、順調に販売を伸ばし、市場の高評価を獲得。引き続き販売ラインナップを拡充し、さらなる魅力を伝えていきます。

## MOコレクション



## プレステージコレクション



### 「ミオネット」プロフィール

1887年創業。イタリアのヴェネト州トレヴィーゾ県に本社を置く老舗ワイナリー。2008年にドイツのスパークリングワイン世界大手、ヘンケル&カンパニー ゼクトケラライKGの傘下入り。



世界No.1プロセッコ\*「ミオネット」

## 2018年2月より 小売ルートでの販売を開始

「ミオネット」は、イタリア産スパークリングワイン・プロセッコの老舗ブランドとして、130年にわたり世界中で愛飲されており、2016年度における世界プロセッコ(750ml)販売数量では、第1位となりました。当社グループは、国内独占販売総代理店として、そのラインナップを拡充しました。

今回は、業務用のスタイリッシュな「MOコレクション」にロゼを加え、2品に拡充するとともに、「ミオネット」のフラッグシップ「プレステージコレクション」4品を新たに取り扱い、2018年2月より小売ルートでの販売を開始しました。和食との相性も抜群な「ミオネット」の価値を日本中にお届けします。

\*IWSR調べ 2016年販売数量

## 女性ワインスペシャリストが審査する"SAKURA" Japan Women's Wine Awards で ミオネットが「ゴールド賞」を受賞

国内ワイン業界で活躍する女性スペシャリストが審査する「第5回 "SAKURA" Japan Women's Wine Awards 2018」において、「ミオネット」の主力商品の一つ「ヴァルドビアデーネ DOCG プロセッコ スペリオール」が「ゴールド賞」を受賞しました。

丘陵地帯の厳しい傾斜で栽培されたぶどう、「グレラ」を醸造した本商品は、青りんごのフレーバー、アカシアの花、満開の花畑のアロマを感じさせる味わいが特長です。



商品に関するお問い合わせ先/伊藤忠食品株式会社 0120-747-477

## 商業高校フードグランプリが平成29年度「青少年の体験活動推進企業表彰 文部科学大臣賞」を受賞

平成30年3月1日、文部科学省主催平成29年度「青少年の体験活動推進企業表彰」で、当社「商業高校フードグランプリ」が最高賞である文部科学大臣賞 大企業部門を受賞しました。



「青少年の体験活動推進企業表彰」は、社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を表彰し、全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の推進を図ることを目的としています。

商業高校生への当社の本業を活かした体験的な学習機会の提供や、情報発信の努力、社内理解の醸成等の審査項目で高い評価をいただき、今回の受賞となりました。

当社は今後も本業である食品流通業を通じて、未来を担う若い人材の教育と食育・地域食文化の継承に取り組んでまいります。



## 「デジタルギフト」ソリューション提案を推進

ギフト企画部ギフトカード事業チームでは、「その場で応募、その場で当たる」&「すぐ使える、すぐ届く」の一連の流れを全てWEB上で完結できる新しい仕組み「デジタルギフト」ソリューション提案を推進しています。

デジタルギフトを導入することにより、企業側は運用・コスト面の課題を大幅に改善することができます。さらに、近年のスマートデバイス（スマートフォンやタブレット端末等）の普及にも後押しされ、キャンペーンやポイント交換景品のデジタル化が急激に進んでいます。

平成30年2月7日～9日には「第57回東京国際ナショナル プレミアムインセンティブショー2018」に出展し、高い評価をいただきました。

紙の商品券、金券、カタログギフトなどの法人利用の市場規模は約8,000億円と言われる巨大なマーケットですが、その大半がまだまだ「アナログ」であり、「デジタル」の推進は大きなビジネスチャンスと捉え、引き続き積極的な提案を推進していきます。

### ●導入イメージ(ポイント交換抽選サイト)



抽選サイトへアクセス  
キャンペーンコードを入力



抽選演出が稼働し、  
当落の抽選

あたりが表示された方は自動的に応募フォーム画面へ遷移。アドレスを入力いただき登録、後日デジタルコードを送付

# 連結決算の概要

## ● 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

### 売上高

660,899 百万円

(前期比4.7%増)

組織小売業との取引拡大や販路開拓などにより、前期比で298億97百万円の増加となりました。

### 営業利益

4,246 百万円

(前期比12.4%増)

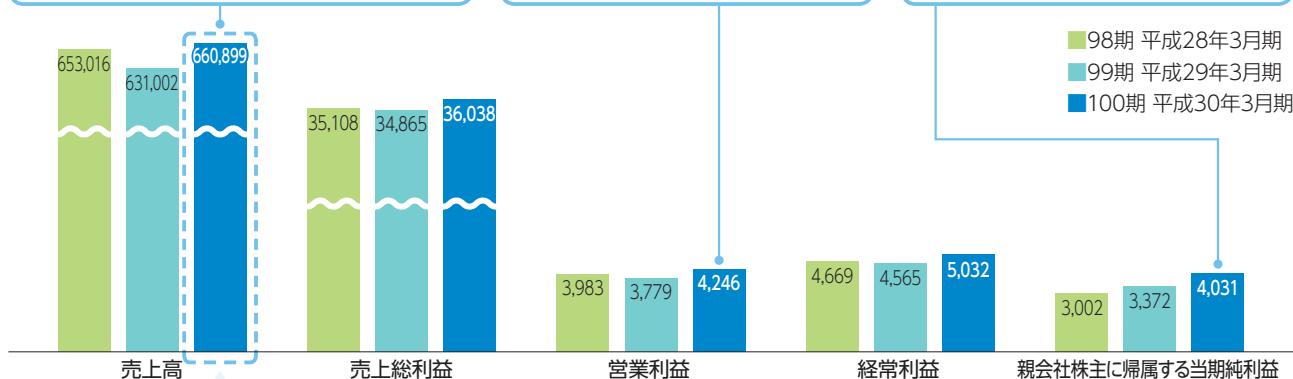
取引拡大により物流費など販売費及び一般管理費が増加したものの、増収による売上総利益の増加により、前期比で4億67百万円の増加となりました。

### 親会社株主に帰属する当期純利益

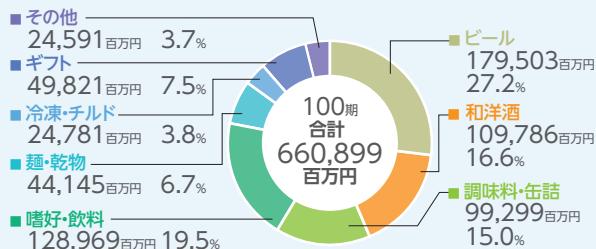
4,031 百万円

(前期比19.5%増)

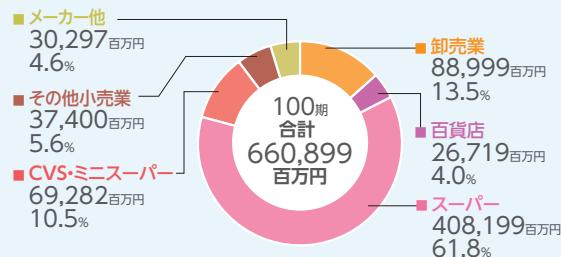
第2四半期連結会計期間に取引先との経費負担に関する一時的な調整金を特別利益に計上したことから、前期比6億58百万円の増加となりました。



### 商品分類別 売上高構成比

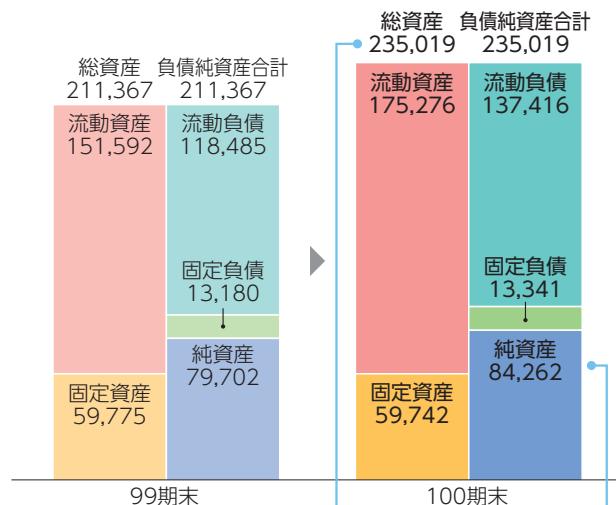


### 業態別 売上高構成比



(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。

● 資産、負債及び純資産の状況 (単位:百万円)



総資産

235,019  
百万円

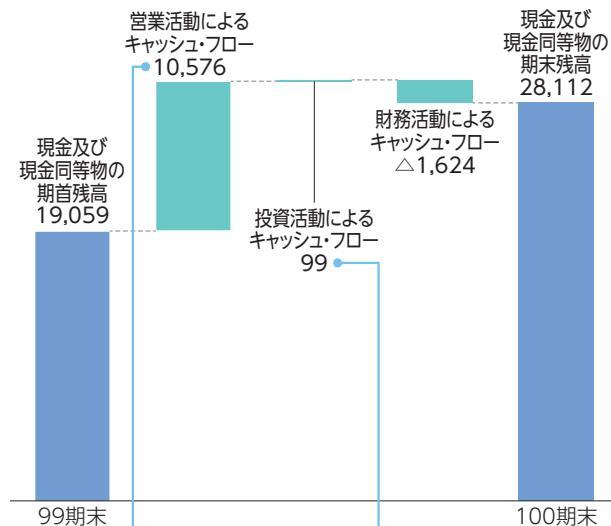
総資産は、2,350億19百万円となり、前期末に比べると236億51百万円の増加となりました。これは、増収ならびに当連結会計年度末が金融機関の休日であったことにより売上債権が133億1百万円増加したこと及び関係会社預け金が85億円増加したことなどによるものであります。

純資産

84,262  
百万円

純資産は842億62百万円となり、前期末に比べ45億60百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が増加したこと及び株価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

● 連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



営業活動による  
キャッシュ・フロー

10,576 百万円  
の収入

営業活動によるキャッシュ・フローは105億76百万円の収入(前期より71億67百万円収入増加)となりました。主な要因は当連結会計年度末が金融機関の休日であったため、債務の一部支払いが翌期にずれしたことなどによるものであります。

投資活動による  
キャッシュ・フロー

99 百万円  
の収入

投資活動によるキャッシュ・フローは99百万円の収入(前期より40億8百万円支出減少)となりました。主な要因は有形固定資産売却による収入11億44百万円ならびに固定資産の取得による支出8億85百万円等によるものであります。

**商号** 伊藤忠食品株式会社  
**創業年月日** 明治19年2月11日(1886年2月11日)  
**設立年月日** 大正7年11月29日(1918年11月29日)  
**資本金** 4,923,464,500円  
**従業員数** 連結1,121名 個別793名  
**事業内容** 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、  
 運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関する  
 マーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。  
**本店所在地** 大阪府中央区城見2-2-22  
 大阪本社  
 〒540-8522 大阪府中央区城見2-2-22  
 電話(06)6947-9811  
 東京本社  
 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7  
 電話(03)5411-8511

**役員** (平成30年6月21日現在)  
 代表取締役社長・社長執行役員 **岡本 均** 常勤監査役 **姫野 彰**  
 取締役・相談役 **濱口 泰三** 監査役(非常勤) **増岡 研介**  
 取締役・専務執行役員 **大釜 賢一** 監査役(非常勤) **萩原 武**  
 取締役・専務執行役員 **三浦 浩一** 監査役(非常勤) **太田 有哉**  
 取締役・執行役員 **川口 浩一** 常務執行役員 **酒井 健雄**  
 取締役・執行役員 **後藤 晶彦** 執行役員 **鈴木 昌**  
 取締役・執行役員 **大崎 剛** 執行役員 **角田 憲治**  
 取締役(非常勤) **橋本 健** 執行役員 **松本 正幹**  
 取締役(非常勤) **宮坂 泰行** 執行役員 **河原 光男**  
 取締役(非常勤) **細見 研介** 執行役員 **魚住 直之**  
 執行役員 **山村 芳幸**

**子会社・関連会社** ■連結子会社 ■非連結子会社 ■関連会社

卸売業／■(株)スハラ食品 ■(株)中部メイカン  
 小売業／■(株)宝来商店

物流管理・運送業／■新日本流通サービス(株)  
 サービス業／■ISCビジネスサポート(株) ■(株)アイ・エム・シー

## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎年6月

**基準日** 定時株主総会 3月31日  
 期末配当金 3月31日  
 中間配当金 9月30日

**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

**特別口座の  
 口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

**郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(電話照会先)** 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

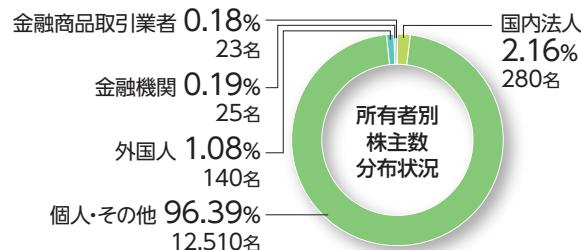
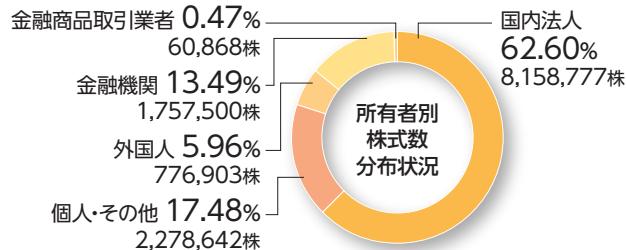
**公告方法** 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

\* 公告掲載の当社ホームページアドレス  
<http://www.itochu-shokuhin.com/>

**単元株式数** 100株

**証券コード** 2692

発行可能株式総数 40,000,000株  
 発行済株式の総数 13,032,690株  
 株主数 12,978名



大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,620,316	50.79
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	815,000	6.25
味の素(株)	339,129	2.60
アサヒビール(株)	296,500	2.27
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	249,300	1.91
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	149,600	1.14
伊藤忠食品従業員持株会	131,400	1.00
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	115,900	0.88
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	91,700	0.70
はごろもフーズ(株)	87,100	0.66

(注) 1 上記のほか、自己株式が345,307株あります。

- 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を三井住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。
- みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

ご案内

住所変更、単元未満株式の  
買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様 ▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

「配当金のお支払い」  
について

証券会社に口座がないため  
特別口座を開設されました株主様 ▶ 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金領収証にてお受取りの  
株主様 ▶ 「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたしておきます。

口座振込を指定されている株主様 ▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

「配当金計算書」について

※確定申告をなされる株主様は大切に保管してください。

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

# MIONETTO, THE bestselling PROSECCO in the world.

世界No.1プロセッコ\*



\*IVSR調べ 2016年販売数量



商品に関するお問い合わせ先 / 伊藤忠食品株式会社 0120-747-477

お酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。

**ISC** 伊藤忠食品株式会社

- 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811
- 東京本社 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7 電話 (03)5411-8511
- インターネットホームページURL <http://www.itochu-shokuhin.com/>

**UD  
FONT**



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して  
植物油インクで印刷しています。